



サステナビリティ Navi
YACHIYO Engineering

サステナビリティ Navi サービス資料



目次

1. 会社紹介
2. サステナビリティNaviについて
3. サービス紹介
4. 導入事例



会社紹介

社名	八千代エンジニアリング株式会社
業種	建設コンサルタント
本店所在地	東京都台東区浅草橋5-20-8 CSタワー
設立	1963年1月29日（創立63年）
資本金	4億5千万円
売上高	269億円（2025年6月30日現在）
従業員数	1,366人（2025年7月1日現在）
会社HP	https://www.yachiyo-eng.co.jp/
サービスHP	https://sustainability-navi.com/



本店オフィス受付

自然科学に基づいて プロの目線でファクトを示していく コンサルティング集団



主な支援テーマは、『気候変動』『水リスク』『生物多様性』です。
当社はこれらの各テーマに対し、「開示のための開示」ではなく、調査・分析・実行まで一気通貫で支援します。
これらに加え、行政をはじめとしたステークホルダーとの連携支援など、課題やニーズに合わせ、様々なご支援を行っています。

パーパス

自然科学の技術で、地域や社会の課題を解決し、
持続可能な世界を実現する

クレド

- よりよい社会と自然を創る
- 公正である
- あらゆるものから学ぶ
- 肯定から入る
- 顧客の真のペインを理解する
- 真のネイチャーポジティブにコミットする
- 技術に基づき、ファクトを示す

サステナビリティNaviについて

サステナビリティ
コンサルティング支援実績

400件超

(2026年3月時点)

官公庁向け社会資本整備に
関わるコンサルティング実績

63年

(2026年3月時点)

パートナーとの連携

- ・ 農林中央金庫
- ・ WasteBox
- ・ BSI

イニシアチブへの参加

SBTNコーポレートエンゲージメントプログラム



生物多様性のための30by30アライアンス



CDPウォーター認定パートナー



AWS (Alliance for Water Stewardship)



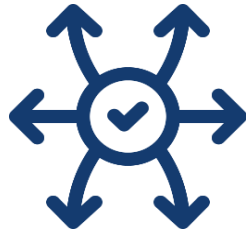
TNFDフォーラム



国立公園オフィシャルパートナーシップ



私たちが選ばれる3つの理由



自然科学の専門家による 国際イニシアチブ対応支援

CDPやTNFDなどの開示基準に精通したコンサルタントと自然科学の専門家によるチームが、貴社のサステナビリティ情報開示を国際水準へと引き上げます。



調査・分析・実行まで 一貫したサポート

情報開示に留まらず、現地での環境調査や具体的アクションの策定、社内調整の補助、自治体との連携まで行い、ネイチャーポジティブの実現をお手伝いします。



チームの一員として 担当者さまに伴走

貴社特有の状況に合わせ、安心して相談できるパートナーとしてプロジェクトを成功へと導きます。顧客に寄り添う真摯な対応が評価されています。

サステナビリティNavi サービス内容（一覧）

気候変動

評価

- GHG排出量算定 (SCOPE1,2,3)
- 森林のCO2吸収量算定

方針・戦略の策定

- SBT認定取得支援
- FLAG認定取得支援

対策

- グリーン電力証書等の販売
- ブルーカーボンクレジット認証取得支援

情報開示

- CDP気候変動回答支援
- TCFD開示支援

その他 関連サービス

- サプライヤーマネジメント実施支援
- サプライヤーエンゲージメント
- 社内セミナーの実施
- 第三者認証の取得支援
- 他企業のベストプラクティスの整理

フォレスト・生物多様性

評価

- TNFD-LEAP評価
- 活動場所の影響評価
(生物多様性重要地域との近接性など)
- 自然関連リスクと機会の分析・評価
- 特定したリスクと機会に対する対策検討
- 土地転換評価
- 森林の多面的機能の定量評価
- 森林機能の貨幣価値換算
- LCA評価 (ライフサイクルアセスメント)

方針・戦略の策定

- TNFD開示に向けた事業の優先順位付け (スコピング)
- SBTs for Natureに沿った目標設定支援
- 森林保全地域の選定

対策

- 関係者間の合意形成支援
- 保全計画の策定支援

情報開示

- CDPフォレスト回答支援
- TNFD開示支援

水リスク

評価

- 水リスク評価
- 洪水リスクおよび財務影響評価
- 井戸健全性評価
- 地域の水資源量評価 (水の地図)
- 拠点が分布する流域の水収支算定 (ホストレス評価)
- 森林の水涵養量定量評価
- ウォーターフットプリント算定

方針・戦略の策定

- 水戦略および取り組みロードマップ策定
- Alliance for Water Stewardship (AWS) 認定取得支援
- SBTs for Natureに沿った目標設定支援

対策

- 拠点単位の水資源管理システム構築支援
- 洪水リスクを含むBCM・BCP支援
- ステークホルダーコミュニケーション支援

情報開示

- CDP水セキュリティ回答支援

※本スライドは支援内容の一部を抜粋したものです。貴社の状況に合わせて最適な支援内容をご提案いたします。

サービス紹介 ①

AWS認証取得支援

流域の水資源を維持していくためのウォータースチュワードシップ

こんなお悩みありませんか？

- ・水資源管理の取り組み内容を対外的にアピールしていきたい
- ・流域内の誰と協働すればいい？
- ・そもそも自社拠点の流域範囲がわからない



これまで、事業者にとって“水資源”は操業に使用する投入資源として扱われてきました。しかし、水需要の増加や水質汚染など、水資源の持続性が危惧されています。これからは、水資源を地域の共有財産として認識し、ステークホルダーと協働して水資源を維持していく必要があります。

サステナビリティNaviは、ジャパン・ウォータースチュワードシップ設立メンバーとして、自治体や民間団体との協働（コレクティブアクション）を推進します。

Point 1

豊富な支援実績

AWS Standardに沿った支援実績を多数有しており、全国で事業者と自治体等の協働を視点をきた実績があります。



Point 2

水資源専門家としての支援

河川や地下水など水資源に関わる専門コンサルタントが、自治体や民間団体との橋渡し、活動方針の検討をサポートします。



Point 3

自治体の水循環計画支援の経験

長年自治体の水資源に関する支援を行ってきました。事業者と自治体両側の視点から、その流域に適した協働実現に向けた支援を行います。



流域の水資源を見える化する「水の地図」

水の流れを読み解く、新しい地図

こんなお悩みありませんか？

- ・企業の水利用と流域への影響を知りたい
- ・涵養施策でウォーターポジティブを実現したい
- ・流域の水資源量を評価したいがコストが高いと感じる



森林は降った雨を徐々に地下へ浸透させる水資源の涵養地域としての側面を持っています。

しかし、土地の改変や森林の管理不全によりそのような涵養地域が減少しつつあります。企業には、普段使用している水資源がどこから来ているのかを認識し、必要に応じて涵養地域である森林を適切に管理することが求められます。

サステナビリティNaviは、水リスクの専門家として流域の水資源量を見える化し、企業の水に関する戦略立案に向けた指標を提供します。

Point 1

日本中の流域における水資源量の評価が可能

気象データと土地の利用形態を踏まえ、地下に染み込む涵養量を評価します。



Point 2

涵養施策に伴う水涵養量の評価が可能

土地利用別に水涵養量を評価するため、企業が取り組む涵養施策に合わせて涵養量を算定できます。



Point 3

従来手法（現地調査）より低コストな評価

日本全土の水収支を既に「見える化」しているため、短期間かつ低コストで評価できます。



サービス紹介 ②

TNFDに沿った分析開示支援

自然資本に関する企業方針を明確に！

こんなお悩みありませんか？

- ・どこから分析や開示を始めればいい？
- ・TNFDに基づく評価方法が複雑だと感じる
- ・経営層や事業部への説明が難しい



2023年、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）により「TNFDフレームワークV1.0」が公開されました。

「ネイチャーポジティブ」に向けた動きが加速する中、企業には自社活動と自然資本との関わりを評価し改善していく責任があります。

サステナビリティNaviは、TNFDフレームワークを熟知した専門チームが、開示に向けた計画の策定から分析・開示までトータルで支援します。

Point 1

社内意識の醸成に向けた説明会を実施

当社では、TNFDに関する理解を深めるため、専門家がTNFDの目的や重要性、自然資本の評価方法について詳しく解説します。



Point 2

TNFDのフレームワークを熟知した専門家がサポート

さまざまな業種の支援実績があり、企業の状況に合わせた柔軟なご支援が可能です。開示後に実施すべきネクストアクションについてもサポートがします。



Point 3

開示に向けたロードマップ整理

すべての事業やバリューチェーン全体の開示には多くのリソースを必要とします。事業やバリューチェーンに優先順位を付けたうえで、分析と開示に向けたロードマップを明確にします。



SBTs for Nature目標設定支援

自然に及ぼす負荷に対し、科学的な根拠に基づいた目標設定が求められています

こんなお悩みありませんか？

- ・目標を設定したいが、進め方がわからない
- ・最新情報のキャッチアップが難しい
- ・SBTs for Natureの認定を取得したいが、ハードルが高い



私たちの生活と企業活動は、自然が提供する生態系サービスに支えられています。しかし土地転換や水利用、汚染などの影響で自然が劣化し、生物多様性の損失が進行しています。こうした課題に対処するため、SBTs for Natureが新たな指針として登場しました。

サステナビリティNaviは、認定取得支援の実績があり、認証に必要なデータや考え方など万全の体制を整えています。

Point 1

専門家による最新で正確な情報の提供

当社はSBTs for Natureのコーポレートエンゲージメントプログラムに参加しているため、ガイダンス等に関する最新の情報をご提供できます。



Point 2

目標設定を専門家の視点からサポート

河川や地下水に関わる専門技術者が、目標設定の方法および設定した目標の妥当性を検証します。



Point 3

方法論に沿った柔軟な目標設定をご支援

ガイダンスを熟知した専門技術者が、各社の状況に応じた柔軟な目標設定を支援します。



サービス紹介 ③

海外拠点の洪水ハザードマップ作成支援

気候シナリオを考慮した洪水リスクの評価を実現します

こんなお悩みありませんか？

- ・海外拠点の洪水リスクはどう評価するの？
- ・気候上昇で洪水リスクはどう変化するの？
- ・洪水に対する想定被害額をどう算定すればよいかわからない



洪水が企業に直接的な影響をもたらす事例が増えています。

事前に洪水リスクを把握することで、将来的な被害対策の検討を進めることができます。

サステナビリティNaviは、最新のデータと専門的な分析を駆使し、地域の特性に応じたリスク評価を提供します。これにより、適切な対策を講じるための基盤を築き、安心・安全な操業をサポートします。

Point 1

専門知見をもとにした
世界中の浸水深の分析

海外の多くの地域では国内のようなハザードマップが整備されていません。
当社では全世界を対象として、洪水リスクの評価が可能です。



Point 2

将来の気候変動を考慮した
洪水リスク評価が可能

長期的な洪水リスクを評価するためには、気候変動を加味することが効果的です。



Point 3

浸水深を被害額に換算

拠点の浸水レベルを把握し、資産額と生産額から被害額を算定することが可能です。



CDP回答支援

貴社のスコアアップ実現をサポート！

こんなお悩みありませんか？

- ・CDPに関する最新の情報を知りたい
- ・スコアアップのために何をすればいいの？
- ・気候変動、水セキュリティ、フォレストでコンサルを一本化したい



2024年度から、CDP設問書の各テーマが一部統合されました。

持続可能な社会を実現するためには気候変動対応だけでなく、水資源や森林の維持、回復が必要です。また、企業は気候変動や水セキュリティなどの分野を跨いだ戦略や取り組みが求められています。

サステナビリティNaviは、豊富な実績・専門性・CDPパートナーとしてのノウハウで、CDP回答をご支援いたします。

Point 1

CDP認定パートナーとして
豊富な採点実績

CDP認定パートナーとして、気候変動、水セキュリティ、フォレスト合わせて250件を超える豊富な採点実績があります。



Point 2

サステナビリティ経営の
取り組みを適切に反映

企業の実情を適切に反映できるよう、各質問の意図をわかりやすく解説し、開示をサポートします。



Point 3

最新のCDP情報を解説

CDPは各種イニシアチブとの整合性の観点から、質問内容が毎年更新されます。
前年からの変更点や採点基準を詳しく解説します。



サービス紹介 ④

SBT認定取得支援

環境への責任を果たし、信頼を築く

こんなお悩みありませんか？

- ・ SBTiの要求に応えられるか不安
- ・ GHG排出量を算定したい
- ・ セクター別の要件が分からない



脱炭素が求められる現代において、気候変動への取り組みとなるSBT（Science-Based Targets）認定は、企業の信頼性と競争力を高める重要な要素です。企業は科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標を設定することで、持続可能な社会の実現に貢献することができます。サステナビリティNavilは、目標設定から進捗管理、申請書作成まで全てのステップをサポートします。

Point 1

信頼性のあるGHG排出量算定

国際的な基準であるGHGプロトコルに則った算定が可能です。また、BSI（英国規格協会）と業務提携を行っており、第三者認証についてもスムーズな対応が可能です。



Point 2

認定取得まで 伴走いたします！

認定は申請して終わりではありません。審査中のSBTからのフィードバックへの対応もご支援させていただきます。また、FLAG等のセクター別ガイドランスにも対応可能です。



Point 3

算定方法の マニュアル化

自社算定を目指した算定方法のマニュアル化や、社内ルール化に寄与するサポートを行います。



グリーン電力証書の販売

クリーンセンターで生まれた環境価値を使ってみませんか

こんなお悩みありませんか？

- ・ 安定した価格で、必要な量だけ再エネを調達したい
- ・ 地域の再エネ普及に貢献したい
- ・ 電力契約先を変えずに、消費電力を再エネにしたい



再生可能エネルギーで生み出された電力には、化石燃料の削減・CO2排出抑制・再エネ普及への貢献などの付加価値が含まれており、これらは「環境価値」と呼ばれています。「環境価値」を電力価値と切り離して証書化したものがグリーン電力証書です。事業活動で消費した電力に、購入したグリーン電力証書の相当量を紐付けることで当該電力について「再生可能エネルギーを使用している」とみなすことができます。

Point 1

多様なイニシアチブへ対応

CDP、SBT、RE100など、さまざまな国際的イニシアチブに対応しています。また、導入割合を指定できるため、電力を一部だけでも再エネ化していることのアピールにも活用可能です。



Point 2

地域活性化に 貢献することが可能

どの発電施設で生み出された電力なのか第三者認証により明示されています。例えば地域のごみ焼却施設から生まれた証書を購入することで、地域活性化に貢献できます。



Point 3

翌年への繰り越し

他の証書やクレジットと違う点は、償却期限がないことです。購入後、権利行使しないかぎり翌年以降も繰り越しが可能です。自社の都合に合わせて利用時期を決めることができます。



支援実績 (社名公表をご承諾いただいた企業さまの一部をご紹介します)

AISIN

Eat Well, Live Well.
Aj 味の素 AGF 株式会社
AJINOMOTO

自然を、おいしく、楽しく。
KAGOME

愛は食卓にある。
kewpie

健康にアイデアを
kmb KMバイオロジクス株式会社



SAPPORO

GPSS
地球は燃やさない。魂、燃やせ。
JWS
地球は燃やさない。魂、燃やせ。

EPSON

SEKISUI

Daiwa House

DIC 株式会社
Color & Comfort

東邦ガス

より、そう、ちから。
東北電力

東洋製罐
グループ

TOPCON

トヨタ紡織
TOYOTA BOSHOKU

Nabtesco

N
ニチレイ

NIPPON STEEL
日本製鉄株式会社

フジパン

FUJIFILM

BRIDGESTONE

HOCHIKI

三菱マテリアル

健康にアイデアを
meiji 明治ホールディングス株式会社

MORINAGA

森永乳業

RICOH

RENGO

YKK
Little Parts. Big Difference. >>>

導入事例





味の素AGF株式会社

食品メーカー



味の素AGF株式会社

ご利用いただいたサービス

概略調査

詳細調査

目標設定・ビジョン

対策

発信

サステナビリティNavi
YACHIYO Engineering

本事例の
詳細はこちら



水リスク

詳細調査・情報発信支援

森と工場をつなぐ地下水の流れを可視化し、持続可能な水利用を実現



お客様の声

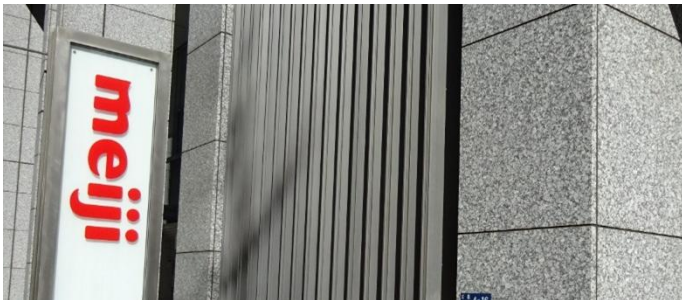
学術的な裏付けによる自信をいただけたことで、活動を通して社会課題解決を実践する意義を実感し、社員の誇りと企業ブランド向上につながりました。

課題

- ◆ 工場で使用する地下水の持続的な確保が課題となっていた
- ◆ 森林保全活動と地下水とのつながりを科学的に示せていなかった
- ◆ 森づくりの成果を社会に効果的に発信する手段が不足していた

当社サポート概要

- ◆ 森と工場をつなぐ地下水の流れを科学的に解析し、保全活動の成果をデータで可視化
- ◆ 学識者参画による、データの妥当性・信頼性を担保する評価体制の構築
- ◆ 調査成果を活用したイラストやWeb発信支援により、CSR活動の理解促進と社内外発信を支援



明治ホールディングス
株式会社

食品・医薬品メーカー

健康にアイデアを

meiji 明治ホールディングス株式会社

ご利用いただいたサービス

概略調査

詳細調査

目標設定・ビジョン

対策

発信

サステナビリティNavi
YACHIYO Engineering

本事例の
詳細はこちら



水リスク

評価分析支援

グループ全体がベクトルを合わせ、効果的な対策を進めるために



お客様の声

八千代エンジニアリング株式会社の専門的知見により、難解だった水リスク評価が明確になり、グループ全社のより強い周知徹底、社員の意識改革につながりました。

課題

- ◆ Aqueductやハザードマップの評価結果を正確に理解し活用したい
- ◆ グループ全体の意思を統一し、水リスクに対する取り組みを加速させたい
- ◆ 優先順位の設定ができず、どの拠点から手を付けるかが明確でなかった

当社サポート概要

- ◆ Aqueductなどの評価ツール活用法をレクチャーし、各拠点のリスク評価見直し・ゴール設定を支援
- ◆ 役員・環境担当者向け勉強会を実施し、グループ全体の水リスクに対する共通理解を醸成
- ◆ 各種リスク対策に関するコンサルティングと情報提供を通じて、優先順位・具体策の策定を支援



株式会社アイシン

自動車部品メーカー

AISIN

ご利用いただいたサービス

概略調査

詳細調査

目標設定・ビジョン

対策

発信

 サステナビリティNavi
YACHIYO Engineering

本事例の
詳細はこちら



生物多様性

TNFD開示支援

リソースが限られるなか、迅速・丁寧な伴走支援でTNFD試行開示をいち早く実現



お客様の声

不明点についての難しい質問にも迅速にわかりやすくご回答いただき、一貫して丁寧な対応でスムーズに進められました。

課題

- ◆ TNFD提言に沿って、自社の事業活動と自然共生との関連を整理・見える化したい
- ◆ TNFDの要件が不確定な状況のなか、限られたリソースで取り組む必要があった
- ◆ 社内の自然関連の取り組み意識を高めたい

当社サポート概要

- ◆ 試行開示に向けた情報整理やフレームワークドラフト版のレクチャー、社内向けマニュアルの作成
- ◆ TNFDが提唱するLEAPアプローチに沿って、自然資本への依存度や影響度などを包括的に評価・分析
- ◆ 統合報告書に掲載する開示案の検討・アドバイス



オムロン株式会社

電子機器メーカー



ご利用いただいたサービス

概略調査

詳細調査

目標設定・ビジョン

対策

発信



本事例の
詳細はこちら



生物多様性

TNFD開示支援

長期ビジョン「SF2030」に合わせた生物多様性方針改定案を迅速にレビュー



お客様の声

環境問題や自然災害のリスク分析に強いと認知しています。セミナーの内容が非常に明快で、コンサルタントの誠実さが印象的。他社にも相談したうえで、八千代エンジニアリングに決めました。

課題

- ◆ 2010年に制定した生物多様性方針の改定が必要
- ◆ 方針の改定案が現在の社会からの期待値を満たしているか、第三者目線で評価してほしい
- ◆ 時間とリソースが限られており、スピーディーに進めなければならない

当社サポート概要

- ◆ 国際基準に基づく具体的な改善提案および適切な文章表現のアドバイス
- ◆ 項目を詳細に分類したうえで評価し、現実的な対応可能性を踏まえ優先順位を明確化
- ◆ ドラフトの確認～評価の完了を3カ月未満で対応
- ◆ LEAP分析を通じた自然資本の影響・依存関係の可視化



日本風力サービス株式会社/GPSSホールディングス株式会社



ご利用いただいたサービス

環境アセスメント支援

サステナビリティNavi
YACHIYO Engineering

本事例の
詳細はこちら



生物多様性

環境アセスメント

初めての風車開発。未知の分野で数年がかりの環境アセスを全般的に支援



お客様の声

共通の思いを持って、時には友人のようにおしゃべりしながら、ずっとそばにいてくれる存在です。これからもぜひ伴走していただきたいと思っています。

課題

- ◆ 陸上風力発電所の設置に向け環境アセスメントが必要だが、何から始めればいいのか全くわからない
- ◆ 法律上必須の範囲だけでも、評価が必要な環境要素が多岐に渡る
- ◆ 地域住民の不安を解消するため、法律上必須でない項目についても調査したい

当社サポート概要

- ◆ 配慮書や方法書といった関連図書の手続き、事業計画策定、説明会実施などを含む環境アセスメント全体の包括的支援
- ◆ 獣害やバードストライクを念頭に置いた、現地での生態系調査
- ◆ 動植物や騒音、安全など、地域住民からのさまざまな意見に対する回答アドバイス

TNFDレポート 2025

三菱マテリアル株式会社



三菱マテリアル株式会社

非鉄金属メーカー

三菱マテリアル

ご利用いただいたサービス

概略調査

詳細調査

目標設定・ビジョン

対策

発信

サステナビリティNavi
YACHIYO Engineering

本事例の
詳細はこちら



生物多様性

TNFD開示支援

事業特性と「想い」を重視し、満足のいくTNFD開示レポート完成へ



お客様の声

密なコミュニケーションと柔軟な対応のおかげで、多岐にわたる事業のTNFD開示を短期間でまとめられました。粘り強い調整を続けてもらえたことが、成果物への納得感につながっています。

課題

- ◆ 生物多様性に関する取り組みの経験がなく、課題意識を社内全体に広げることが困難
- ◆ TNFDへの対応を単なる情報開示で終わらせず、各事業や地域の実態に沿って取り組んでいきたい
- ◆ 国内外の拠点数が多く、多数の関係者とのやり取りが大変

当社サポート概要

- ◆ LEAPアプローチにおける各フェーズの分析・評価およびTNFD開示レポート作成支援
- ◆ 定例ミーティングや個別メールによる緊密な意思疎通を通し、事業特性を理解したうえでクライアントの想いを重視
- ◆ 各部署からのフィードバックへの迅速な対応、修正・再分析の柔軟な実施



明治ホールディングス株式会社/
KMバイオロジクス株式会社

健康にアイデアを

meiji

明治ホールディングス株式会社

健康にアイデアを

kmb

KMバイオロジクス株式会社

ご利用いただいたサービス

概略調査

詳細調査

目標設定・ビジョン

対策

発信

サステナビリティ Navi
YACHIYO Engineering

本事例の
詳細はこちら



生物多様性

TNFD開示支援

環境保全のパートナーとして、環境調査から学習プログラムまで一気通貫の支援



お客様の声

これまで培ってきた環境保全への専門知識を発揮しながら、イベントスタッフさながらの活躍までしてくださり、非常に心強く、実務でも大変助かりました。

課題

- ◆ 生物多様性の損失を食い止めることが重要な責務だと考えている
- ◆ 生物多様性に関する取り組みの意義を従業員やステークホルダーに啓発し、活動の実施・継続を説明することも重要
- ◆ オフラインの環境学習プログラム実施にあたり、内容や集客方法を効果的にしたい

当社サポート概要

- ◆ 自然保全区「くまもと こもれびの森®」の環境調査および緑地保全管理計画の策定
- ◆ 生物多様性保全への関心および理解の向上を目的とする環境学習プログラム「あつまれ こもれびの森」企画・運営補助
- ◆ 「自然共生サイト」等認証継続に関するアドバイス



フジパングループ本
社株式会社

パンメーカー



ご利用いただいたサービス

概略調査

詳細調査

目標設定・ビジョン

対策

発信

サステナビリティNavi
YACHIYO Engineering

本事例の
詳細はこちら



気候変動

SBT認定支援

100年企業による「1.5°C目標」達成への貢献とSBT認定



お客様の声

GHG算定からSBT申請まで、一貫した伴走支援により安心して取り組みました。わかりやすい資料と迅速な対応が、わたしたちの100周年に向けた挑戦を後押ししてくれました。

課題

- ◆ 気候変動対応に関する社内認識が不足していた
- ◆ GHG排出量の指標設定・算出方法に知見がなかった
- ◆ 創立100周年に向けてSBT認定取得という重い節目があった

当社サポート概要

- ◆ 気候変動対応の基礎理解から社内説明会までの伴走型支援を実施
- ◆ GHG排出量算定に必要な情報収集・整理、社内マニュアル作成を支援
- ◆ SBT認定申請の英語対応・事務局質疑応答まで含む申請プロセス全体を支援

サステナビリティ領域の課題解決は サステナビリティNaviにお任せください。

サステナビリティNaviは、ネイチャーポジティブの実現や地域社会の活性化を目指す企業の皆さまに対し、
戦略の策定から実行・情報開示まで、一気通貫のソリューションをご提供します。
豊富な知見と確かな技術力で、貴社の課題解決を力強くサポートします。

今すぐ、貴社のサステナビリティ課題をご相談ください！
無料相談を実施中！

[お問い合わせ](#)

CLICK



サステナビリティ Navi
YACHIYO Engineering

yec 八千代エンジニアリング株式会社

〒111-8648 東京都台東区浅草橋5-20-8 CSタワー
Mail : sustainability-navi@yachiyo-eng.co.jp
ウェブサイト : <https://sustainability-navi.com/>